

学校 教育 目標	≪わくわく どきどき みんなの笑顔≫～自分らしさを生かし、学び合う仲間や地域と共に成長します～ ○主体的に課題や問題を解決し、思いや願いの実現が図れる子どもを育てます。(知) ○より良いコミュニケーションを図りながら、「豊かな人間関係」を育む子どもを育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、自他の生命や健康を大切に育てます。(体) ○人とのふれあいを大切にし、自分たちのまちを愛する子どもを育てます。(公) ○豊かなかかわりを通して、広い視野で物事をとらえる子どもを育てます。(開)				
学校 概要	創立 44 周年	学校長 犬塚 真	副校長 三森 康央	2 学期制	一般学級: 8 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 213 人	主な関係校: 並木中学校 富岡東中学校 並木第一小学校 並木中央小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	富岡東中・並木中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
コミュニケーション能力 他者の考えや思いに対する受容性 伝え合うことで考えを深化させる力	富岡東中学校 並木中学校 並木第一小学校 並木中央小学校 並木第四小学校	①自ら考え行動し、課題解決に向かう子ども ②豊かなコミュニケーション力で、積極的に人と関わる子ども ・子どもが自らの困り感に対してヘルプを出し、居場所や学びの場を自己選択、自己決定できるような特別支援教育についての共有や研修を行っていく。 ・教職員がモデルを示すと共に、あいさつポスターの交流を行い、あいさつ運動を推進する。 ・相手の話を聴く指導を行い、自他を受け入れ、互いに認め合う風土を創る。 ・地域の方とのつながりを意識し、地域と積極的に関わる場の活用をする。 ・子ども会議を受け、各校での発信、具体的な取組へ繋げる。 ・児童生徒一人ひとりの学力を向上させることにより、自尊感情を高め、落ち着いた学校生活を送れるよう支援する。

中期 取組 目標	○教育目標の具現化に向けて、子ども・教職員・保護者・地域が一体となり、「豊かな人間関係」を育み、信頼と愛着がもてる学校づくりを目指します。 ・子どもどうしが互いにつながり合う授業づくりを通して協働的に問題を解決する力の育成を図ります。 ・子どもが安心して自分らしく生活できる学級づくり・学校づくりを通して自他ともに人を大切にする心情と行動力を育てます。 ・多面的多角的な見方や考え方のできる子どもを育て、多文化共生の学校づくりとまちづくりめざします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業づくり	① 聞く力の育成に着目し、他者と学び合い、高め合う授業づくりを行う。 ② Y-P アセスメント及び横浜市学力・学習状況調査を活用し、根拠のある指導改善を継続する。 ③ 互いの立場や考えが尊重され、安心して自己表現できる学びの風土を充実させ、主体的に学ぶ子を育てる。
徳 あたたかな風土	① 異学年交流を日常的に行い、思いやりや違いを認め合う関係づくりをさらに深化させる。 ② 自尊感情と規範意識を高める継続的な指導・支援を通し、互いを大切にする態度を育てる。 ③ 人権課題を自分事として考える学習を充実させ、よりよい人間関係を主体的に築く力を養う。
体 健やかな心と体	① 専科指導の強みを生かし、安全で楽しく、運動の楽しさを実感できる体育学習の充実を図る。 ② 児童が主体となる運動遊びや集会を継続し、体力の向上と健康・安全への意識を高める。 ③ 養護教諭・栄養士と連携し、心と体、食の健康に関する取組を進め、健やかな生活力を育む。
公 開 社会とのつながり	① まちと協働する活動を通して、地域の一員としての自覚と地域への愛着をさらに深める。 ② 地域の課題を自分事として捉える学習を充実させ、社会に貢献しようとする主体的な態度を育てる。 ③ 挨拶と交流を大切にし、地域と共に安全・安心なまちを支える関係づくりを進める。
いじめへの対応	① アンケートや面談を活用し、いじめの未然防止と早期発見の精度を向上させる。 ② 子どもの心に寄り添う指導とチームによる支援を重ね、自己有用感と相手を思いやる心情を育む。 ③ 学年チームの連携と適切な研修を通して、組織的な対応ができる集団づくりをさらに進めていく。
人材育成・組織運営(働き方)	① ゆとりと活力を大切にし、教職員一人ひとりの強みが発揮される職場風土を形成する。 ② 子どもの心情に寄り添いながらチームで協働し、課題解決に向かう実践力の育成を進める。 ③ キャリアステージを意識した役割の発揮と相互支援を促し、人材育成が連鎖する体制を構築する。
子どもの課題解決	① 子どもの課題を多面的・多角的にとらえ、児童や保護者に寄り添った適切な支援を模索する。 ② Y-P アセスメントを活用しながら、子どもの背景や思いを把握することに努める。 ③ 個々の困りを早期に見出し、特別支援教育コーディネーターを中心とした組織で支援体制を整える。
地域学校協働活動	① 学校運営協議会での協議や授業参観を継続的にを行い、教育活動の成果と課題を可視化して改善に生かす。 ② 地域コーディネーターと連携し、学校のニーズに応じた協力者の依頼と体制づくりを進め、豊かな人間関係に根差した学びを充実させる。
グローバル人材の育成	① 外国語専科による系統的な指導を継続し、聞く・話す力を高める。 ② 多様な文化や背景に触れ、違いを尊重する態度と他者理解を深める。 ③ 豊かな人間関係を築くことで、他者の考えを受容し自らの成長につなげる姿勢を育む。
	b10